

関東・東北豪雨を受けた「避難を促す緊急行動」

H27.12.15

出水時に河川管理者から提供される情報とその対応等を首長と確認 ～由良川トップミーティングを開催～

－ 福知山河川国道事務所 －

先般の平成27年9月関東・東北豪雨により、全国各地において浸水被害等が発生しており、特に鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市では、約1万1千棟が浸水するなど甚大な被害が生じました。

この水害を受け、

- [1]堤防決壊に伴う氾濫流による家屋の倒壊・流失
- [2]地方公共団体による避難判断、広域避難
- [3]避難の遅れと長時間・広範囲の浸水による多数の孤立者の発生

の3点を対処すべき主な課題と捉え、全国の市町村長や堤防沿いにお住まいの住民の方々の不安や懸念に応えるための「避難を促す緊急行動」を実施することとし、その一環として洪水予報、ホットラインなど出水時に河川管理者から提供される情報とその対応等を**由良川沿川（国管理区間）の市長**と確認しました。

概要

対象河川：由良川水系由良川、土師川



- 日時：平成27年12月15日（火）10:00～11:30
- 場所：市民交流プラザふくちやま 3階 会議室3-2
- 参加者：由良川沿川（国管理区間）の4市（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市）、京都地方気象台、国土地理院近畿地方測量部、近畿地方整備局河川部、福知山河川国道事務所

【確認内容】

- ・関東・東北豪雨に係る被害及び復旧状況
- ・洪水予報、ホットライン（事務所長から市町村長へ直接連絡）など出水時に河川管理者から提供される情報内容
- ・水害対応チェックリストの作成、周知
- ・タイムラインの整備効果
- ・災害時にトップがなすべきこと
- ・新たなステージに対応した気象台の取り組み
- ・ハザードマップポータルサイト



その他、市長が避難勧告発令の目安となる「氾濫危険水位」など河川管理者が出す情報の活用を確認した上で、こうした情報が出るまでの連絡を密に取り合うことや、水防上重要な区間について、現場のパトロールや河川管理用カメラ、水位計などで状況をリアルタイムで把握し、ホットラインで伝えることなど、市との情報のやりとりを強化していくことを確認しました。

【市長からの主な意見】

- ・洪水予報やホットラインなどの防災情報の引き続き提供と、緊密な連携をお願いしたい。
- ・「水害対応チェックリスト」や「タイムライン」作成の支援協力をお願いしたい。
- ・下流部では、輪中堤の整備等も進んでおり、整備進捗を踏まえた避難情報が必要。



各市長ご発言の様子

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
福知山河川国道事務所調査第一課
〒620-0875
福知山市字堀小字今岡2459-14
TEL 0773-22-5104

